

大樹の礎

Taiju no Ishizue

第17号 2016 3.17

発行者：学校法人 城西 医療 学園

日本医療科学大学
Nihon Institute of Medical Science

〒350-0435
埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
TEL.049-294-9000
URL <http://www.nims.ac.jp>

Finding Employment

就職先最多は埼玉県、関東エリアが約90%

本学では就職支援センターが学生を「完全フォローアップ」し、就職活動に対する不安をゼロにする「就活」ゼロ「宣言!!」をスローガンに掲げています。例年、様々なガイダンスやセミナー、説明会、個別面談を行い、学生の就職につながっており、今年度の就職活動も順調に進んでいます。また、卒業生が活躍することで、多くの求人獲得につながっています。

今年度は、看護学科と臨床工学科も初めて卒業生を送り出す年になりますので、両学科への就職支援にも力を入れてきました。通常の就職支援活動以外に、理学療法士や作業療法士、診療放射線技師の募集で来学された病院・施設の採用ご担当者様に対し、看護師と臨床工学技士の求人獲得にもつながるように、積極的に声を掛けました。その結果、両学科においても多数の求人を得ることができました。

今年度の内定状況を2月19日現在でエリア別に見ますと、最も多かった

のは埼玉県で、全体の37%を占めています。次いで多いのは東京都で30%。この両都県で約70%が就職を予定しています。これに千葉県、神奈川県、群馬県、栃木県、茨城県を含めた関東エリアでは全体の約90%となり、卒業生の就職先のほとんどが関東エリアに集中しています。

学生が、数多くある就職先から「この職場で働きたい。この職場ならばやっつけていける」と思える就職先を見つけるためにも本学は、学生を支援し、就職率100%を目指します。

平成27年度 都道府県別人数とUターンの割合

平成28年2月19日現在

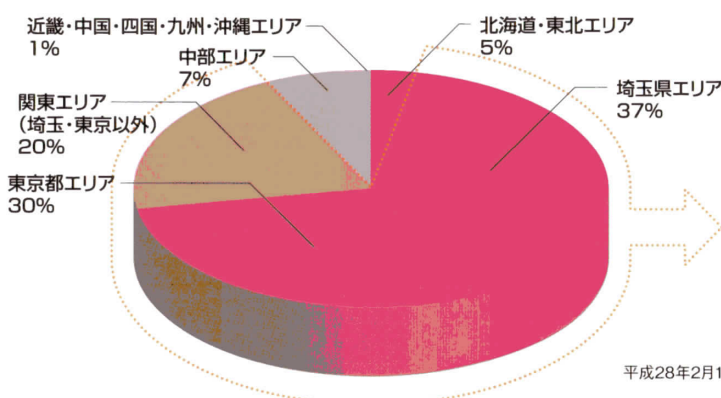
	就職予定 (人数)	Uターン (%)		就職予定 (人数)	Uターン (%)
北海道	1	25	滋賀	0	0
青森	0	0	京都	0	0
岩手	0	0	大阪	1	0
宮城	4	80	兵庫	0	0
秋田	3	42.9	奈良	0	0
山形	0	0	和歌山	0	0
福島	3	25	鳥取	0	0
茨城	5	33.3	島根	0	0
栃木	2	28.6	岡山	0	0
群馬	12	45	広島	0	0
埼玉	89	45.5	山口	0	0
千葉	15	44.4	徳島	0	0
東京	73	42.9	香川	0	0
神奈川	15	33.3	愛媛	0	0
新潟	2	12.5	高知	0	0
富山	1	50	福岡	0	0
石川	0	0	佐賀	0	0
福井	0	0	長崎	0	0
山梨	3	33.3	熊本	0	0
長野	8	50	大分	0	0
岐阜	0	0	宮崎	0	0
静岡	2	12.5	鹿児島	0	0
愛知	1	100	沖縄	0	0
三重	0	0	合計	240	平均38.9

平成27年度 就職内定状況(月別)

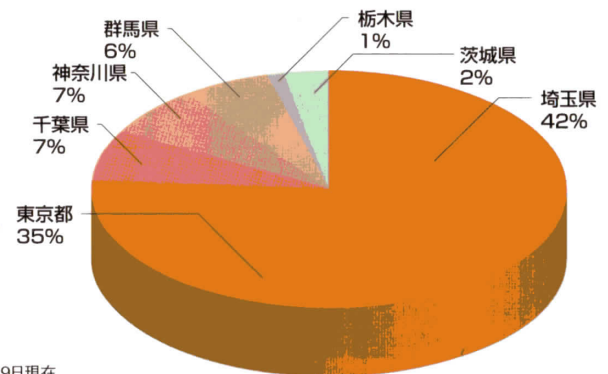
平成28年2月19日現在

学科・専攻	~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
看護学科	18	12	5	6	2	1	19	17	80
臨床工学科		1		7	6	6	2	2	24
理学療法専攻			2	10	24	14	2	3	55
作業療法専攻		1		13	8	4	2		28
診療放射線学科		1		11	19	7	8	7	53
合計	18	15	7	47	59	32	33	29	240

平成27年度 就職予定先(全国エリア別)



平成27年度 就職予定先(関東エリア別)



平成28年2月19日現在

海外への視野が広がった1年

本学では、学生の国際感覚を磨き、視野を広げることを目的に、国際交流活動を積極的に実施しています。平成27年度の主な活動をご報告いたします。

台湾

中臺科技大學との 学術交流協定の締結

10月21日、台湾にある中臺科技大學との間で国際学術交流協定を締結し、中臺科技大學から林政勳副教授を本学にお招きして、新藤宣夫学長と調印式を行いました。

中臺科技大學は、診療放射線技師や看護師などを養成する台湾屈指の医療系総合大学です。1966年の創立以来、毎年、多くの医療従事者を輩出しています。

両大学はグローバル化という共通の目標を持っており、その第一歩として国際交流研究センターが中心となり、協議を重ねたことで今回の協定締結に至りました。

今後は互いの教員及び学生が学術活動の交流や情報交換などを図っていきます。



アジア

国際イベント 「ICCD 2015」への参加

10月31日～11月3日に台湾にある義守大学で「2015インターナショナルコンベンション・デインフォー・RTSチューデント（ICCD 2015）」が開催され、台湾、タイ、インドネシア、日本から16の大学・専門学校が出席しました。日本から参加した2校のうち1校は本学で、教員1名、診療放射線学科3年生4名が出席しました。

頭部X線撮影部門と脊椎撮影部門の2部門において、各校の学生による放射線撮影技術の競技会が行われ、両部門を合わせた総合と、各部門の総合・国内（台湾・海外の1～3位まで）が表彰。本学は、脊椎撮影部門の海外3位（銅賞）を受賞しました。その後は双方の学生、教員と交流を深めました。



インド

アポロ病院から 見学者の受け入れ

10月29日、インドにあるアポロ病院から臨床工学技士、看護師の2名が訪れ、本学を見学されました。

アポロ病院は、グループとしてインドの国内外で38の病院を経営し、4000人の医師を抱えています。また、心臓手術においては世界の五指に入ると言われている有名な病院です。

今回の来学目的は、厚生労働省の「平成27年度医療技術等国際展開推進事業」の一環で、日本のメディカルエンジニア養成教育機関を見学するため。この事業の実施機関である日産厚生会玉川病院のご紹介により実現しました。

インドと日本の教育の違いや医療現場について意見交換するなど交流を深めました。

ベトナム

ドンナイ技術大学との 学術交流協定の締結



12月4日、ベトナムにあるドンナイ技術大学との間で国際学術交流協定を締結し、ドンナイ技術大学からPHAN学長、VO理事長をはじめ7名を本学にお招きして、新藤宣夫学長と調印式を行いました。

ドンナイ技術大学は、ドンナイ省にある2005年創立の大学です。ドンナイ省はベトナムの南部に位置し、日本企業が多数進出しています。

本学は長期的ビジョンとして国際化を掲げ、一方、ドンナイ技術大学は日本人が多く働くドンナイ省はもちろん、日本の医療現場で働く人材も育てたいと考えています。今回の協定締結により、互いの教員及び学生が学術活動の交流や情報交換などを図り、共に発展していくことを目指します。

アジア

アジア地域における コメディカル教育業界の 現状についての調査研究 ワークショップ

1月15日、学生や教職員を対象に「アジア地域におけるコメディカル教育業界の現状についての調査研究」によって得られた知見に基づいてワークショップを行いました。

2部構成で、第1部は本学の天野修司助教による「ベトナム、フィリピンおよびインドネシアにおける看護教育の現状」と題した講演を実施しました。

続く第2部では帯広畜産大学からマーシャル・スミス准教授をお迎えし、「カンボジアおよびミャンマーにおけるコメディカル教育の現状」を題して講演。アジア地域におけるコメディカル教育の現状認識をさらに深めることができました。



平成27年度

主な社会貢献活動報告

ボランティア活動を通じて人間力を向上

『NPO法人主催「水辺環境教室」』

8月20日(木) 学生・教員4名がボランティア

坂戸市の小学生が高麗川の水質調査や生物調査を通じて自然環境を学ぶ教室で、自然観察や土手でのゴミ拾いを行いました。小学生たちの生き生きとした活動ぶりに触れることができ、素敵な思い出でした。



『第1回さいちごパーティー』

5月23日(土) 学生・教員8名がボランティア

鶴ヶ島市立障害者地域活動支援センター「さいちご」で開催された同パーティーで、他大学の学生と共にパーティーを盛り上げました。施設や地域にお住まいの方々と楽しいひと時を過ごすことができました。



『平成27年度埼玉県・桶川市総合防災訓練(第36回九都県市合同防災訓練埼玉県会場)』

8月30日(日) 学生・教員53名が傷病者役

桶川市内で開催された同訓練で、交通事故で救助される傷病者や仮設診療所に逃げてきた妊婦等の役を真剣に演技しました。救助隊員の働きや気配りに感動し、今後の勉強に役立てたいと感じました。



『やまぶきの郷「春まつり」』

5月30日(土) 学生11名がボランティア

坂戸市にある介護老人保健施設「やまぶきの郷」で開催された同まつりで、食事のお手伝いや車椅子の移動補助等を行いました。玉入れや和太鼓演奏等が催され、多くの参加者と笑顔で楽しみました。



『平成27年度政府総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練』

9月1日(火) 学生・教員38名が傷病者役

同訓練で傷病者役を演じました。埼玉県内災害拠点病院と入間基地間での救急車搬送や、入間基地での埼玉DMAT(災害時派遣医療チーム)の医療活動を通じ、危機管理を考え直すきっかけとなりました。



『あじさいの丘夏祭り』

7月5日(日) 学生・教員5名がお手伝い

神奈川県秦野市にある鶴巻高齢者複合施設「ケアタウンあじさいの丘」で開催された同祭りでは、ケガで車椅子生活となった方や独居の高齢者の方をはじめ、地域にお住まいの参加者などと祭りを盛り上げました。



『川越・仲町観光案内所の観光ガイド』

10月24日(土)・25日(日) 学生20名がボランティア

本学の英語サークル「Excellent」が川越で外国人観光客を対象に英語での観光ガイドボランティア活動を行いました。講義以外で英語を学ぶ良い機会となり、また、外国人観光客と交流を深めました。



『第2回トレニックワールドin飯能→越生50km&30km』

7月12日(日) 学生・教員8名がボランティア

トレイルランニング(山野を走るマラソン)の大会で、ランナーへの給水や食べ物提供、体調不良者への救護等をお手伝いしました。ランナーや主催者から感謝の言葉をもらい励みになりました。



交流が深まる恒例イベントを開催!

学生主体の恒例行事、「ハロウィン」と「クリスマス」の2つのパーティーを今年度も開催しました。勉強に励む普段とは違った笑顔にあふれ、4年生にとっては国家試験に向けたよい息抜きとなりました。また、平成28年度入学予定者を迎えた「ウォーミングアップセミナー」も実施。教職員や本学学生との交流を深めました。

Trick or Treat?~ハロウィンパーティー2015~

当日、会場となった2号棟地下1階の食堂「カパティーナ」は華やかに飾りつけられました。ハロウィン一色のムードに包まれた特別な雰囲気の中で学生の気分も上々。ビンゴ大会も催され、魅力的な景品をめぐって大いに盛り上がりました。見事、景品を手にすることができた学生は大喜び。楽しい時間があっという間に過ぎました。

今回も会場に入りきれないほど多くの学生が集まりました

参加学生の中には手の込んだ衣装をした姿も



10月30日
(金)



12月9日
(水)



クリスマスパーティー

当日、会場となった2号棟地下1階の食堂「カパティーナ」には大きなクリスマスツリーが登場したほか、クリスマスならではのグルメもテーブルに並び、参加学生は大いに盛り上がりました。クリスマスプレゼントを手にしようという意気込みもあってか、ビンゴ大会が始まると景品をめぐって会場全体はヒートアップ。楽しい時間があっという間に過ぎました。

中にはサンタクロースや雪だるまの衣装を身に着けた学生も



高等学校の授業よりも長い90分間の模擬講義を受講



初日の昼食は本学の中庭において、本学学生が入学予定者をバーベキューで“おもてなし”しました

11月
28日(土)
29日(日)

平成28年度
入学予定者を迎えた
ウォーミングアップ・セミナー

ウォーミングアップ・セミナーは、昨年11月までに本学入学が決まった平成28年度入学予定者に対し、一泊二日の日程で実施しました。事前学習の重要性を感じてもらうほか、今後迎える本学での生活・学習の一端を体験し、4年間の大学生活を有意義に過ごしてもらうことを目的としたものです。セミナーでは模擬講義を開講し、呼吸器系の学習で喉頭模型作りに取り組みました。また、各学科・専攻に分かれ、4年間の学習の流れ、国家試験や就職の現状についてガイダンスを行いました。入学予定者にとっては貴重な機会となりました。